

## 基幹水利施設ストックマネジメント事業（継続）

【6, 266（6, 500）百万円】

### 対策のポイント

農業生産の基礎となる基幹的な農業水利ストックを効率的に活用するため、ストックマネジメントを推進します。

#### （ストックマネジメント）

基幹的な農業用排水路の延長は約4万7千キロ、ダム、頭首工、用排水機場等は約7千箇所となっており、今後このような膨大な農業水利施設を効率的に更新していくことが重要な課題となっています。

これら既存の施設（ストック）を効率的に活用し施設の長寿命化などを図る手法（ストックマネジメント）を用いて、基幹的な農業水利施設の効率的な更新を進めていきます。

### 政策目標

国で造成した基幹的な農業用排水路約1万4千kmの機能診断を平成19年度より5年間で実施

#### <内容>

##### ストックマネジメントの推進

基幹的な農業水利施設の機能診断、機能保全計画の作成及び計画に基づく対策工事を一貫して実施します。

具体的には、以下の取組を実施します。

- ① 国で造成した農業水利施設の機能診断及び機能保全計画の作成  
※ ①は国営造成水利施設保全対策指導事業で実施
- ② 都道府県で造成した農業水利施設の機能診断及び機能保全計画の作成に対する支援
- ③ 機能保全計画に基づく予防保全対策工事の実施に対する支援
- ④ 突発的な事故への緊急対応に対する支援

#### <事業実施主体等>

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 事業実施主体 | ②は都道府県、③④は施設管理者（都道府県、市町村、土地改良区等）又は都道府県 |
| 2. 補助率    | 1／2                                    |
| 3. 事業実施期間 | 平成19年度～                                |

【担当】農村振興局水資源課施設保全管理室  
杉山・細田（03）6744-1363（直）